



第148号  
 令和元年8月15日  
 発行：公益社団法人  
 日野市シルバー  
 人材センター  
 編集：広報委員会  
 日野市日野本町2-4-7  
 TEL:042-581-8171



会員数(人)	
平成31年6月30日	
計	1,664
男性	1,186
女性	478
6月入会者	14
(男9、女5)	
6月退会者	23
(男19、女4)	

# 会員事故、死亡含め急増

## 計6件 『安全はすべてに優先』の再徹底を

日野市シルバー人材センター(S  
C)の会員事故が令和元年度になら  
て急増し、8月8日に発生した死  
亡事故を含めて、平成30年度1年  
間の計6件に早くも並ぶ多発ぶり  
です。まさに非常事態ともいうべ  
き状況で、各職場は「安全はすべて  
に優先する」を改めて胸に刻み、  
熱中症対策はもちろん、就業に際  
して決して無理はしないなど事故  
防止に向けて出来る限りの手立て  
を尽くしてください。

### 〈事故6件の状況〉

- ① 4月19日午前7時半ごろ、女  
性会員が運輸関係の派遣先で  
荷の入ったパレットを仕分け中、  
一緒に作業をしていた人の荷入  
りパレットが強い勢いで左手の甲  
にあたり、打撲を負った(傷害、  
通院3日)
- ② 5月7日午前10時ごろ、男性  
会員が公園で清掃・除草の作業  
中、鉄製の蓋を1人で持ち上げ  
たところ、誤って右足首の上に落  
とした。病院で検査の結果、右  
足首挫創と診断された(傷害、  
通院中)
- ③ 6月5日午前11時ごろ、男  
性会員が空き家の植木の剪定  
作業を終え、木に立ってかけてい  
た脚立(8尺)を軒先に移動させ  
ようとして誤って脚立先端が  
開いていた窓ガラスを通り抜け、  
リビングにあったテーブルにぶつ  
かり一部を破損させた(賠償)
- ④ 6月15日午前10時ごろ、男性  
性会員がアパート2階のお客様  
宅へ網戸を納品・設置した際、  
網戸の角部がベランダの壁に接  
触し、数カ所の傷をつけた(賠償)

- ⑤ 7月5日午前8時ごろ、女性会  
員が市民向け講習会の準備作  
業のためにセンターに向かう途  
中、J.R日野駅で下車し階段を  
降りる際に転倒。病院で検査の  
結果、左足甲の剥離骨折と診  
断された(傷害、通院3週間)
- ⑥ 8月8日午前9時過ぎ、J.R日  
野駅周辺で放置自転車の指導  
誘導業務に就いていた男性会員  
が倒れ、救急車で立川の医療セ  
ンターに搬送された。同センタ  
ーで手当を受けたが午前10時過  
ぎ、死亡が確認された。熱中症  
を含め事故の原因を調査中。

(安全管理委員会)  
 \*2面に『安全心得10項目』掲載

### 熱中症を防ごう!

記録づくめだった昨夏の猛暑。総務省消防庁によると、5〜9月に  
かけて9万5137人が熱中症で  
救急搬送され、死者数は1578  
人にのぼりました。

専門家によると、熱中症予防の  
基本はまず三度の食事をしっかり  
取ること。生活のリズムを守ること  
が体内リズムを守り、体調を整え  
ることにつながるといっています。

水分補給もきわめて大事ですが、  
これについても食事が重要な役割  
を果たしています。体重70キロの人  
の場合、尿や汗などで体から排出  
する水分は1日に約2.5リットル。  
1日に摂取する2.5リットルの水  
分のうち、体の代謝で作られるの  
は0.3リットル。残りは飲み水で!  
2リットル、食事から1リットルを  
得ている  
といえます。

### 水分補給を忘れずに



昨年5  
〜9月の  
熱中症に  
よる搬送  
者のうち、  
65歳以上  
の高齢者は48%とほぼ半数を占め  
ました。高齢者は暑さ、のどの渇  
きを感じにくいことから水分を取  
らない傾向があると言われていま  
す。それだけに、家においても外出時  
も、こまめに水分を補給すること  
が夏を乗り切り、命を守る最大の  
ポイントになると専門家は指摘し  
ています。

## 委員会のメンバー紹介

(敬称略、50音順)

令和元年8月1日現在

委員会	委員長	副委員長	委員				事務局 担当者
総務委員会	由井アキラ		安藤 恒美	戸石 哲雄	横山 治正		生田 宏造
事業委員会	川瀬 明廣		安達 正人 宮原 廣	新藤 誠一	須崎 彰	根津 正美	堀 文耶
地域委員会	市川 勝正	倉澤 博	阿川 茂 吉野 久忠	梅澤 茂行	大屋 和博	小林 清	鶴川 正直
女性委員会	渋谷 善子	森久保玲子	宇田真理子	上條あつ子	武藤知江子	安井 幸子	岡 信行
安全管理委員会	宮古 和則	穴山 忠敬	井上 利夫 徳田 功	内海 幸美 松元 義一	小原 堅嗣	佐藤 三郎 渡辺 喜心	堀 文耶
広報委員会	光田 烈	戸石 哲雄	井手 了 平林 雄三	清水 本子 平山 陽子	田中 妙子	中原 恒雄	乙津 俊輔

## 安全心得10項目

- 当SCCは会員の就業に伴う事故を防止し、安全に就業できるための「安全就業基準」を定めています。その中の第3条は「安全心得」として10項目を挙げ、就業に際してはこの心得をしっかりと守り、作業に従事しなければならぬ、としています。以下に安全心得10項目を記しますので再確認してください。
- (1) 作業は、安全第一を心がけること
  - (2) 器具類は、使用する前に必ず点検すること
  - (3) 服装・履物は、作業に合った動きやすいものにする
  - (4) 作業前には、軽い柔軟体操をして体をほぐすこと
  - (5) 加齢による諸機能の低下を十分に認識し、無理をしないこと
  - (6) 作業現場は、常に整理整頓を心がけること
  - (7) 共同作業では、合図・連絡を正確に行うこと
  - (8) 帰宅するまでは仕事のうち、交通事故に気をつけること
  - (9) 健康には常に注意し、健康な状態で就業すること
  - (10) 仕事の前は、十分睡眠をとるよう心がけること

(安全管理委員会)

## 理事会 ニュース

## ★第4回理事会 7月29日

・審議事項Ⅱ正会員の入会(16人承認、8月1日16人入会)

・報告事項Ⅱ令和元年度事業実績(4~6月分)Ⅱ1億6596万円(前年度比2.5%増、本号3面を参照)、令和元年度予算執行状況(6月分)、他

## ★経営企画会議 7月18日

議題Ⅱ民間職場への就業期限導入について、他

## 「センター」行事日程

●7~8月 前期地域班会議

## 事務局からのお知らせ

本年4月20日に行われた当SCC設立40周年記念式典のスナップ写真アルバムが事務局カウンターに置いてあります。

事務局にお立ちよりの際にご覧ください。お気軽に入りの写真がありましたら、ご自由にご覧ください。

## 共働・共助

## 配分金の支払日

8月20日(火)  
9月20日(金)  
10月18日(金)  
11月20日(水)  
12月20日(金)  
1月20日(月)

# 来場者アンケート結果から見た

## 「第4回いきいき祭り&リサイクルフェア」

いきいき祭りとりサイクルフェアが合体して4回目の開催(5月25日)となつた今回、実行委員会では初めて来場者アンケートを実施しました。シルバーの祭りが市民や会員にどう受け取られているかをアンケートから考察しました。

まず、来場者数は750人で、アンケートがくじ抽選券を兼ねているため、サンプル回収数を701人分獲得できました。帰りがけの回収ではこれほどの数は集まらなかつ



当日の会場の様子

たのではないのでしょうか。

次に、来場者の地域分布では、市内全域から来場され、今回初めて行った各委員会委員によるポスタイングが、かなりの効果を上げたものと思われまふ。そのほかフェア開催を知った媒体は、広報ひの(エコー)、市掲示板、京王線駅貼り、市内スーパー掲示のポスターの順。来場者の感想もおおむね好意的なものが多かったことは、実行委員会としても喜ばしい限りでした。

ただし、気になる点としては、SC会員の祭り参加者が110人。スタッフ関係者を入れても計150人で、約1700人の総会員数から考えていきさか少ないのではないのでしょうか。

次回第5回以降の課題として、地域班でのイベント出店や職群班等の模擬店など、会員の交流に向けての施策を実現したいと考えまふ。そして来年は「暑さ」というリスクを少しでも回避するため、開催時期を改めて検討することにし

ました。

最後に当SCが祭りを実施している目的、理由を改めて記します。

①SCのPR(会員増強と就業拡大を目的としている)

②会員の交流、団結を深める

③リサイクル事業の発信基地として、啓発活動を行う

(シルバーいきいき祭り&リサイクルフェア実行委員会)

### 今年度第1四半期の事業実績

当SCの令和元年度第1四半期(4~6月)の事業実績がまとまりました。契約金額は、公共事業が6951万円(前年度比4.4%増、民間事業が4754万円(同5.3%増と好調な出足です。

一方、一般家庭は2676万円(前年度比2.6%減、独自事業も454万円(同8.9%減といずれもマイナス。上記4分野の請負合計金額は1億4837万円(前年度比2.9%増でした。

また派遣事業は1759万円(前年度とほぼ同額でした。請負と派遣を合わせた契約金額総計は1億6596万円です。

就業実人員は1138人で、前年度比33人増となっています。

### 新任班長の紹介

村田俊生 南が丘・南平台班長



南が丘・南平台班の村田です。

前任の川辺氏は頭脳明晰で発言力もあり事務処理も早く、私とは正反対です。わたしのとりえは、体が良く動くことくらいです(昭和23年生まれ)。現在、検体搬送の仕事させていたいております。

愛知県西三河地方の西尾市出身です。私の子供の頃は、近くに松林の広がる砂浜の続く広い海水浴場がありました。工業開発の進展(トヨタグループの進出)で既ありません。今思うと残念至極です。

大学卒業後はヘキストジャパン(ドイツの化学会社)に入社し、大阪、名古屋、東京と転勤。現在に至ります。東京在住36年です。

現在わが家には柴犬3匹がおり、一家総出で世話をしています。7歳、6歳、1歳とまだ若いですが、これから歳を重ねていくと別れが待っており、切なくなつてきます。今を大切に生活していかななくてはと思つています。

## 認知症、引きこもり防止に効果

麻雀中心のサークル活動

6月の当SC定時総会では、センターの表彰規定に基づいて計8氏の会員表彰が行われました。このうち、当SC最高齢会員で20年間継続就業した渡辺武五郎さん(93歳)と、会員主体のゲームサークル活動を認知症や引きこもりなどの防止に役立てたいと意欲を燃やす田中剛さん(74歳)のお2人は「会員として顕著な功労が認められる」として表彰されました。ここでは田中さんのサークル活動を紹介します。

田中さんはエンジニアとして働いた日野自動車を定年退職後、平成18年に当SCに入会。自転車管理などで就業して来られました。

サークルとの出会いは平成27年春。当時、少人数の会員仲間が交流と親睦を目的に活動していた「麻雀&オセロクラブ」(岡村和夫さん||現理事||が主宰)に参加したことがきっかけでした。同サークルは中央公民館高幡台分室(程久保)の部屋を借りて活動していま

すが、ロコモなどで次第に参加メンバーが増え、現在登録されているのは男女計35人。

田中さんは手作りの麻雀台をいくつもサークルに提供するなど活動を下支えし、昨年初めに会長職を岡村さんから引き継ぎました。

サークルのメンバーは70歳代、80歳代が多く、就業のかたわら、月4回程度開催される活動に参加。登録メンバー35人のうち、3人はSC会員ではありません。多い時は計6卓を囲み、朝から夕方までなごやかな雰囲気で行われています。麻雀だけでなく、オセロや将棋を楽しむメンバーも。

田中さんは「もともと交流と親睦が目的でしたが、認知症や引き



サークルの活動風景

(7月26日、中央公民館高幡台分室で)

こもりの増加が社会的に問題になる中、会場に足を運んでもらい、麻雀を中心に頭を使うゲームを共に楽しむことが、認知症や引きこもりの防止につながることを実感としてわかります。いま、高齢者の間では麻雀がブーム。今後は初心者からも気軽に参加できるように工夫して、メンバーをもっとも増やしたい」と意欲的です。

活動は1回の会費が200円。会員以外の登録も歓迎とのこと。入会申し込みは田中会長へ(固定042-584-9554、携帯080-1209-2103)。

## 布ぞうり講習会

7月11日(木)市民対象の布ぞうり講習会が女性委員会主催のもと、センター会議室で開催されました。

毎回人気のある講習会で、今回も定員20人をすぐに超え、キャンセル待ちが出るほどでした。

布ぞうりは、針金ハンガーを曲げたものにppロープをセットして古着のTシャツを5cm幅に切り、ロープに編み込んで作ります。スタッフの説明を聞き、教わりながら和気あいあいの雰囲気の中で、それぞれ



熱心に楽しく作成中の様子

個性的な布ぞうりが出来ました。「とても楽しかった、次回もぜひ参加したい」と皆さん笑顔で帰りました。今回の講習会で初めてシルバール人材センターを知ったという方もいらつしやいました。

(女性委員会)

## 朝のあいさつ運動

8月26日(月)実施

毎回奇数月の第一登校日に実施していますが、今回は2学期第一登校日の8月26日(月)に市内17小学校と8中学校で実施します。

(地域委員会)

〔平成30年度安全標語優秀作〕  
バランスを 鍛えて減らす 転倒防止 佐藤豊裕(南が丘・南平台)